

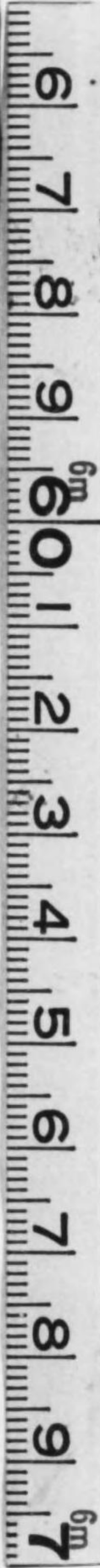
特 243

789

財團  
法人

尾張徳川黎明會第六回報告書

始



特243  
789

財團 尾張徳川黎明會第六回報告書

自昭和十一年四月一日  
至昭和十二年三月卅一日

同  
寄贈本

◎處務要項

- 一、昭和十一年四月三十日 豫テ作製中ノ源氏物語繪卷原色版完成セシヲ以テ本日内務省ニ納本
- 二、六月四日 且希望者ニ頒布ス
- 三、六月五日 昭和十年度決算ニ對シ監事ノ監査ヲ受ク
- 四、六月五日 會長ヨリ松井石根氏ニ本會評議員ヲ委囑ス
- 五、六月十九日 職員俸年規定ヲ制定シ即日實施ス
- 六、六月二十日 評議員會ヲ開催昭和十年度歳入歳出決算案ヲ附議シ原案可決ス
- 七、六月二十九日 評議員會ヲ開催昭和十年度歳入歳出決算案ヲ附議シ原案可決ス
- 八、六月二十九日 評議員會ヲ開催昭和十年度歳入歳出決算案ヲ附議シ原案可決ス
- 九、六月二十九日 評議員會ヲ開催昭和十年度歳入歳出決算案ヲ附議シ原案可決ス
- 十、九月二十九日 左記什寶ヲ公爵近衛文麿氏ニ贈呈ス

卷ヲ出品ス

一、八代集 近衛基熙筆

一、時代梨子地蔦細道詩繪硯箱

右ハ去ル昭和十年十二月三十一日近衛公爵ヨリ同家秘藏本侍中群要



拾卷ノ寄贈ヲ受ケタル答禮ノ意味ニテ贈呈セリ  
侍中群要ハ寛平時代ニ卒去シタル文章博士橘廣相ノ著ニシテ藏人ノ  
職掌ニ關スル事ヲ記シタルモノナリ  
抑モ本書ハ嘉元四年北條貞顯ノ書寫セルモノ爾來永ク金澤文庫ニ保  
存セラレシカ慶長初年豊臣秀次ノ有トナリ次テ日野唯心ノ手ニ移リ  
慶長十九年七月徳川家康ノ有ニ歸シ家康薨後尾張藩祖義直ニ讓與セ  
シ所謂駿河御讓本ノ一ナリ

寛永元年三月其模寫本ヲ禁中ニ貸上ケタル記録ハ現存スルモ原本ノ  
所在杳トシテ明カナラス然ルニ徳川家文庫御書物便覽ニ據レハ慶應  
二年寅十一月御側(藩主慶勝)御入用ニ付差出ス旨ノ記録アルノミニ  
シテ本書ノ所在ハ依然不明ナリキ然ルニ最近ニ至リ近衛公爵家ニ現  
存スルコト明カトナリシガ惟フニ明治維新風雲急ナリシ際親交アル  
近衛忠熙ニ贈呈セラレタルモノナラン

先般近衛公爵ノ厚意ニヨリ本會ニ寄贈セラレ徳川家傳來本ノ復歸シ  
タルハ欣快トスル所ナリ茲ニ右什寶贈答ノ由來ヲ略記ス  
評議員阪本鈺之助氏薨去セラル謹テ哀悼ノ意ヲ表ス

一、十二月十六日



一、十二月十七日

去ル六月廿九日ポストン日本古美術展覽會へ出品セシ田中親美氏筆  
隆能源氏物語繪卷模寫三卷本日受領ス

一、昭十五年二月二十日

會長ヨリ永井松三氏ニ本會評議員ヲ委嘱ス

一、三月三十日

評議員會ヲ開キ昭和十二年度歳入歳出豫算案ヲ附議シ原案通可決ス

◎事業概要

一、美術館

一、昭和十一年

昭和一十一年度第一回平常陳列 參觀者 四四八人

一、四月廿七日

同 第二回平常陳列 參觀者 一、九九七人

一、五月廿七日

同 第三回平常陳列 參觀者 二、〇〇七人

一、九月廿六日

同 第四回平常陳列 參觀者 二、〇六一人

一、十月十八日

特別展覽會 參觀者 一、五二八人

本特別展覽ハ子爵松平慶民氏所藏松平春嶽竝ニ當美術館及徳川家所  
藏徳川慶勝ノ遺品遺墨ヲ陳列セルモノニシテ何レモ維新當時ノ貴重  
ナル文獻ナルヲ以テ斯界ヲ益スル所多カリシト信ス

一、十月四日

徳川慶勝松平春嶽ニ關スル講演會ヲ愛知縣立第一高等女學校ニ於テ

午後一時ヨリ開催左記ノ講演アリ聴衆約四百名午後四時閉會セリ

一、松平家ト徳川家トノ關係 侯爵 徳川 義親氏

一、尾州藩ノ勤王ヲ論ジ藩主 堀田 璋左右氏

一、慶勝公ノ治績ニ及ブ 蘆田 伊人氏

一、舊福井藩主松平慶永公ノ側面觀 蘆田 伊人氏

名古屋ニ於テ三傑會開催セラレタルニツキ之ニ協賛シ隆能源氏物語

繪巻物初メ三傑ニ因メル什器ヲ陳列ス益田孝、大谷尊由諸氏所藏品

モ併セ陳列シ會員ニ限り參觀セシム別ニ庭園山ノ茶屋、心空庵ニ於

テ茶會ノ催アリ 隆能源氏物語繪巻特別觀賞會 一〇九人

全 右特別展觀會 參觀者 二、五五三人

第五回平常陳列 參觀者 一、二〇五人

第六回平常陳列 參觀者 九九〇人

秩父宮雅仁親王全妃兩殿下臺臨被遊徳川副會長御案内申上ケ館内及

陳列品ヲ臺覽アラセラル 特別展觀會 參觀者 九二九人

一、三月十五—三月廿二日

一、十月二十七日

一、十月二十六—二十七日

一、十月廿四—二十七日

一、昭和十二年

一、一月廿一—三月十二日

一、一月二十九日

一、三月十五—三月廿二日

右ハ名古屋汎太平洋平和博覽會協賛ノ意味ヲ以テ三月十五日ヨリ五月廿一日迄開催スルコトトセリ會期タル五月末日迄ニハ參觀者多數ニ上ル見込ナリ

二、蓬左文庫

一、昭和十二年五月十五日 日本圖書館協會常務理事松本喜一氏外各府縣市立圖書館長等二十七名來觀ス

一、昭和十二年二月七日 東京帝國大學國文科主催故芳賀博士十週年忌記念源氏物語展覽會ニ

河内本源氏物語ノ内桐壺、夕顔、玉鬘、浮舟、夢浮橋ヲ出陳ス

本年度中來庫閱覽延人員並閱覽冊數次ノ通 閱覽者 延 一三四人

本年度中購入圖書並ニ寄贈受圖書數次ノ通 閱覽圖書 一、二〇六冊

購入圖書 一二〇部

受寄贈圖書 一九部

蓬左文庫内歴史研究室ノ事業概要次ノ如シ

一、研究

尾張藩林政史ノ研究ヲ續行スル傍藩政史ニ屬スベキ藩財政、經濟、農業部門ノ研究ヲ進ム

本年度ニ於ケル研究發表ノ主ナルモノ左ノ如シ

木曾林政史(一)(二)(三)(四) 徳川 侯爵  
近世ニ於ケル木曾住民ノ生活(一) 所 三 男

右ノ外秋田縣下ニ於ケル山林係争事件ノ鑑定、早稻田經濟史學會ニ於ケル講演等ノ研究附隨事項多シ

二、研究資料ノ蒐集

史料ノ採訪蒐集ハ先年來ノ方針ヲ踏襲シ侯爵自ラ舊領内ノ採訪視察ヲ行ハル等ノ事アリ又囑託安藤次郎ノ協力斡旋ニ依リ着々尾張藩史料ノ充實ヲ見ルニ至レリ本年度ニ於テハ尾張大道寺文書、堀田文書等ノ寄贈圖書ヲ始メ購入、謄寫ニ依ル分ヲ併セテ林政、尾張關係史料約壹千貳百點ヲ増加セリ

三、編纂及出版事業

「地方品目解」ノ對校及ビ「尾張家言集」ノ増刷ヲナス  
又藩祖義直ノ撰述ニ成ル「類聚日本紀」百七十四卷ノ複製ヲ企劃スルニ當リ寛政ノ校合本ニ據リ之ガ對校ニ着手セリ別ニ亦尾州家本ヲ底本トスル河内本源氏物語ノ刊行

計畫ヲ立案シ河内本系統諸本トノ合本ニ着手ス

三、生物學研究所

一、昭和十一年十月一日 黎明會講堂ニ於テ學術講演會ヲ開キ傳染病研究所技師兼臺北帝國大學教授醫學博士細谷省吾氏ハ「細菌の發育促進物質に就テ」ト題シ講演シ平山研究員ハ「煙草モザイク病に關する二三の研究」ト題シ奧貫研究員ハ「呼吸系の再合成とインドフェノラーゼ」ト題シ夫々講演ヲナセリ

研究員ノ研究發表

一、昭和十一年四月廿 東京市ニ開催セル日本植物學會第四回大會ニ於テ講演  
精子完成ト色素体コンドリオゾーム螺旋体等 湯 淺 明

一、七月 發行 帝國學士院報告ニテ發表

モザイク病煙草ヨリ得タル花粉ノ發芽 平 山 重 勝

一、九月十九日 植物病理學會ニテ講演  
煙草モザイク病ニ於ケル種子傳染ノ問題ニ就テ

一、十月十八日 岡山市ニ於ケル第十二回學術大會ニ於テ講演  
呼吸系ノ再合成ト「インドフェラーゼ」

奥貫一男  
生体ヨリ抽出シタル「インドフェノール」酸化酵素ニ關スル二三ノ  
研究

山口清三郎  
小倉安之

ミヅニラノ精子完成

湯淺明

一、十月十七日 岡山市ニ於ケル第九回日本遺傳學會ニ於テ講演ヲクマワラビノ造胞  
体細胞、原葉体細胞及精子ニ於ケル細胞學的固定並ニ染色

湯淺明

研究員ノ研究事項

研究員 田宮博

一、呼吸色素「チトクローム」A、B、C各成分ノ作用機作ニ關シ種々ノ實驗的知見ニ基キ

新説ノ提唱

一、糸狀菌ノ「アミノ」酸ニ對スル作用ノ研究

研究員 平山重勝

一、モザイック病煙草ニ於ケル種子傳染ノ有無ニ關スル調査

一、モザイック病煙草ヨリ得タル種子中ニ於ケル「ヴァイラス」ノ探索

研究

一、煙草「モザイックヴァイラス」ノ根部ヨリノ感染ニ關スル研究

一、モザイック病ニ對スル煙草ノ人爲免疫ニ關スル研究

研究員 奥貫一男

一、チトクローム(C)ノ酸化觸媒トシテ(一)牛心筋インドフェノラーゼ(二)山百合ノ花粉イン  
ドフェノラーゼ(三)ラクタリウス酸化酵素(四)コバルト醋鹽ヲ用ヒチトクローム(C)ノ還  
元素トシテ上面酵母ノ乳酸脱水素酵素及ヒ基体乳酸ヲ用ヒテ呼吸系(ケーリン系)再  
合成ヲ行ヒタリ

一、山百合ノ花、葉、大根等ヨリ新酵素「グルタミンノルデカルボキシラーゼ」ヲ發見シ其  
性狀ヲ研究セリ

一、「エビオス」ヨリ黄色酵素、上面酵母ヨリ助酵素ヲ抽出シ目下(上記ト異ナル)呼吸系

再合成ノ實驗ヲ重ネツ、アリ

研究員 高 宮 篤

一、牛乳中ヨリ「アルデヒドラーゼ」ヲ分離シソノ作用ヲ反應速度論的ニ研究セリ

研究員 山 口 清 三 郎

一、酵母及ビ牛ノ心筋ヨリ「インドフェノール」酸化酵素ヲ抽出シソノ二三ノ性質ヲ研究セリ

一、心筋ヨリ抽出セル「インドフェノール」酸化酵素ニヨル「フェノール」類ノ酸化ヲ研究セリ

一、數十種ノ細菌ノ「チトクローム」ノ比較研究

一、綠膿菌ヨリ抽出シタル「インドフェノール」酸化酵素ノ研究

一、數十種ノ細菌ニヨル酸素呼吸及ビメチレン青、ピンドシエドレル綠ノ還元ニ關スル比較研究

研究員 湯 淺 明

一、ミヅニラノ精子形成

一、羊齒植物ノ核構造ニ關スル研究

一、ラクマワラビノ造胞体細胞原葉体細胞及ヒ精子ニ於ケル細胞學的固定並ニ染色

一、フオイルゲン氏核染色反應ニ對スル「クロム酸」ノ影響ニ就テ

一、藍藻類ノ核ノ問題

一、羊齒植物ノ受精ト「ボーダープリム」ノ行動

一、羊齒植物特ニ真正羊齒類ニ於ケル生毛体ノ起源ニツイテ

B級研究者 小 倉 安 之  
特別研究者

一、チトクローム(C)及ビ(インドフェノラーゼ)ニ就テ

研究業績ノ報文刊行

(一) 徳川生物學研究所輯報 第五集

(所載論文 八種)

(11) Studies From Tokugawa Biological Institute Vol. 3, No. 4.

(所載論文 五種)

一、學術論文ノ寄贈交換

當研究所業績發表ノ目的ヲ以テ生物學上ニ關係アル内外大學動植物學科教室公私研究所若クハ専門學者其他公私圖書館等ニ刊行物ヲ寄贈配布シタル件數二百六十七ヶ所ニシテ其内譯ハ

内外大學動植物學科教室

五二

研究	三二二
學者	一二〇
圖書館	三三二
其他	三一
研究所	一九七
學者	一三二
圖書館	一四九
其他	三
其他	二〇〇

一、諸設備ノ變更  
 溫室ニ恆溫接種箱ヲ設置シ合セテ電燈ノ設備ヲナセリ  
 格納庫ヲ屋上ニ新築シ實驗用機械器具及標本等ヲ格納セリ  
 第二研究室ト光學機室トヲ併合シテ一室トシガス測定器三臺ヲ收容シタリ  
 第十一研究室ニ暗室裝置ヲ施シタリ

ナリ而シテ内外各地ヨリ當研究所ニ宛テ寄贈シ來リ受領シタル報文類ハ合計六百六十  
 三種ニシテ其内譯ハ左ノ如シ

## 昭和十一年度歳入歳出決算書

自昭和十一年四月一日  
至昭和十二年三月卅一日

### 歳入之部

科	目	豫算額	決算額	差	増	減	引
東京瓦斯會社配當金		一三、八七、〇〇	一三、八七、〇〇				
大日本麥酒會社配當金		九、〇〇、〇〇	九、〇〇、〇〇				
阪神急行電鐵會社配當金		七、五〇、〇〇	七、五〇、〇〇				
愛知銀行配當金		二、三九、二〇	二、三九、二〇				
日本電力會社配當金			一、八三、三〇	一、八三、三〇			
三菱鑛業會社配當金			三、六〇、〇〇	三、六〇、〇〇			
南滿鐵道社債利子		一七、五〇、〇〇	八、四四、六五				九、〇九五、三五
預金		二一、七〇、〇〇	一〇、七五、八七				九九四、一三
刊行物頒布收入		五、〇七、〇〇	八、一三、一〇	三、〇六一、一〇			
雜收		一、八三〇、〇〇	二、一七三、九九	三四三、九九			
				一三三			



前年度ヨリ繰越金  
合計

一、五〇〇、〇〇  
八九、三六一、二〇

三七八、四〇  
八六、八八六、五二

一、二二、六〇  
二、三三四、六九

歳出之部

科	目	豫算額	決算額	増減	引
總務部費	諸會圖書刊行費	一〇、三三〇、〇〇	八、七九一、五〇	五九、三九	一、五二八、五〇
	諸圖書刊行費	八〇〇、〇〇	八五九、三九	五九、三九	
	圖書刊行費	三〇〇、〇〇	二四一、四〇	五八、六〇	
	諸會圖書刊行費	一、六〇〇、〇〇	一、七八五、〇三	一八五、〇三	
	諸會圖書刊行費	三、〇〇〇、〇〇	二、〇〇三、三七	九九六、六三	
	諸會圖書刊行費	一、〇〇〇、〇〇	九七四、〇一	二五、九九	
	諸會圖書刊行費	一五〇、〇〇	一三三、九〇	一七、一〇	
	諸會圖書刊行費	二〇〇、〇〇	八四、五四	一一五、四六	
	諸會圖書刊行費	一七〇、〇〇	一五一、八三	一一八、一七	
	諸會圖書刊行費				
	諸會圖書刊行費				

文	美術	雜	豫	備	什	旅	營	備	消	通	圖	雜	庫	保
雜費	美術館費	雜費	豫備費	什寶修理費	旅給費	營繕費	備用品費	消耗品費	通信費	圖書費	雜費	庫費	保存費	藥品費
一、一〇〇、〇〇	二五、七〇、〇〇	二、〇〇〇、〇〇	二、〇〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一四、〇〇〇、〇〇	五、〇〇〇、〇〇	一、一〇〇、〇〇	一、〇〇〇、〇〇	二、五〇〇、〇〇	五二〇、〇〇	一〇〇、〇〇	八五〇、〇〇	二、三六〇、〇〇	一〇〇、〇〇
一、一七七、二八	二六、二九六、八八	一、三八一、七五	一九、三〇	四、六三九、二二	一四、三三三、〇一	四四〇、六一	一、三二二、八一	一、四八五、三三	二、一九六、一九	四四七、三五	一六六、四九	一、二二六、六六	一〇、三〇八、六〇	五、〇〇
七七、二八	五六、八八	三五三、〇二	一二二、八一	四八五、三三							三八六、六六			
六二八、二五	八〇、七〇	三六〇、八八	五九、三九										二、〇五一、四〇	九五、〇〇

貸借對照表

合	營繕費	備品費	消耗品費	通信費	雜費	臨時費	河內本源氏解題刊行費	源氏物語繪卷印刷代	收支差引殘額翌年度へ繰越金
計	100,000	300,000	1,780,000	270,000	100,000	5,753,370	1,253,370	4,500,000	八九,261,200
	458,850	133,230	2,064,870	208,490	126,760	5,676,870	1,253,370	4,433,500	八六,八八六,五二
	三五八,八五	二八四,八七	二六,七六					八〇,六〇	
	一六六,七七	六二,五二	七六,五〇	七六,五〇	七六,五〇	七六,五〇	七六,五〇	七六,五〇	二,三七四,六九

書籍修理參考書蒐集費	諸給	旅費	營業繕費	備品費	消耗品費	通信費	雜費	生物學研究所費	圖書費	機械器具藥品材料費	諸給	研究員補助費	旅費	圖場費
3,500,000	6,660,000	500,000	200,000	500,000	500,000	150,000	250,000	23,650,000	4,680,000	3,840,000	8,480,000	3,480,000	200,000	447,000
3,049,970	5,684,200	251,860	45,200	634,460	442,550	110,810	84,550	23,579,230	3,333,660	4,455,120	8,756,800	3,480,000	101,200	500,250
				134,460							328,800			
450,030	975,800	248,140	154,800					1,356,340						98,800

財產目錄

借方	科目	金額	貸方	科目	金額
什寶器具	一三、二五六、七七五、四九	資	一五、五六一、三九七、八八	什寶器具	一三、二五六、七七五、四九
圖書	三八五、八九九、三	繰越	一三、二三三、四三	圖書	三八五、八九九、三
株式	九四三、〇三二、八四	金		株式	九四三、〇三二、八四
土地	二九七、八九〇、三〇	產		土地	二九七、八九〇、三〇
家屋	三九四、四五二、三七			家屋	三九四、四五二、三七
預金	二九六、五八二、〇〇			預金	二九六、五八二、〇〇
合計	一五、五七四、六三一、三二	合計	一五、五七四、六三一、三二	合計	一五、五七四、六三一、三二

東京瓦斯會社株式	參千七拾五株	一五七、九〇一、二五
全 新株式(拾貳圓五拾錢)	壹千五百參拾七株	一九、二二二、五〇
大日本麥酒會社株式	壹千貳百株	九〇、〇〇〇、〇〇
全 新株式(拾貳圓五拾錢)	壹千貳百株	二五、九八〇、〇〇
阪神急行電鐵會社株式	壹千五百株	九五、九五五、〇〇
全 新株式(拾貳圓五拾錢)	參百株	三、七五〇、〇〇
愛知銀行新株式(參拾圓)	八千八百八拾參株	二四二、三八二、二四
日本電力會社株式	壹千株	五九、五〇三、五〇
全 新株式(拾貳圓五拾錢)	五百株	六、二五〇、〇〇
三菱鑛業會社株式	八百株	八八、二五六、六〇
全 新株式(貳拾五圓)	八百株	五八、〇二一、四〇
南滿鐵道社債券額面	拾萬圓	九五、八七三、三五
美術館敷地	貳千七百拾九坪二九	二〇八、八三〇、三〇
生物學研究所及文庫敷地	壹千百拾參坪二五	八九、〇六〇、〇〇
生物學研究所家屋總建坪	貳百六拾參坪七六五	六七、五〇二、八五

文庫家屋總建坪	百參拾五坪〇二
美術館家屋總建坪	五百參拾坪二三九
基 本 金	信託預金及銀行預金
繰 越 金	
合 計	
	六六、四九五、〇四
	二六〇、四五四、四八
	二八四、三三八、五七
	一三、二三三、四三
	一五、五七四、六三一、三

右ノ通りニ候也

昭和十二年四月一日

法財人團 尾張徳川黎明會

役員名簿

理事、監事、評議員 (いろは順)

評議員	伊藤次郎左衛門	評議員	山永
常務理事	服部廣太	評議員	松平
評議員	徳川義經	評議員	松義
同	大炊御門	同	井協
同	大角	同	藤浪
同	岡谷	同	五味
同	渡邊	同	西郷
同	渡邊	同	柴田
同	田島	同	杉田
同	相馬	同	榮三
監事	正半	同	木信
評議員	雄治	同	以上
監事	子爵	同	吉郎

會長 侯爵 徳川 義親  
副會長 侯爵 徳川 義知

財團法人 尾張徳川黎明會設立趣意書

藩祖義直以來三百年當家ニ傳來セル多數ノ什寶美術品及古書籍ノ  
内美術工藝上貴重ナルモノ若クハ歴史上珍重スベキモノ又ハ古書  
籍等ニテ稀覯ノモノ尠シトセス此等ノ什寶珍籍等ハ永ク個人トシ  
テ死藏スベキニアラザルヲ以テ今回財團法人ヲ設立シテ舊藩地名  
古屋市ニ美術館ヲ建設シ東京府高田町雜司ヶ谷ニ文庫及生物學研  
究所ヲ建設セントス美術館ニハ傳來ノ什寶美術品ヲ永遠ニ保存シ  
且世ノ美術家工藝家ノ研究參考資料ニ供シ文庫ニハ傳來セル古書  
並ニ史學ニ關スル參考書ヲ保存シ其他一般ノ圖書ヲ蒐集シテ世人  
ノ閱覽ニ供シ又古書ノ複製出版及史學ニ關スル研究報告ノ發刊ヲ

378  
37

ナサントス生物學研究所ハ大正六年七月東京府荏原郡荏原町小山  
ニ設立シ現ニ經營シツ、アルモノヲ新築移轉シ以テ生物學ニ關ス  
ル研究調査報告ノ發表刊行及生物學ニ關スル研究員ノ養成指導ヲ  
爲サントス斯クシテ從來所屬ノ圖書器械器具並ニ傳來ノ什寶美術  
品及古書籍古文書等一切ヲ一括シ之ニ事業ノ經營維持ニ必要ナル  
基本金ヲ添ヘテ財團法人ニ寄附シ以テ聊カ公共奉仕ノ微意ヲ盡サ  
ントスルモノナリ

昭和六年十二月三日

設立者 侯爵 徳川 義親

終

